

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA

いわき経済同友会

IWAKI

3 つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

12月号／2016年12月1日発行

11月7日(月)
16:00～

創立30周年記念式典

会 場
パレスいわや



創立 30 周年記念式典

開会の詞 小野 賢司 副代表幹事
安島 浩 代表幹事挨拶

皆様には日頃より、いわき経済同友会をご支援頂き、誠にありがとうございます。本日の創立30周年式典に、このように多数の皆様のご臨席を賜りありがとうございます。

東日本大震災より早5年が経ち、このいわき市にも少しずつ復興の槌音が聞こえておりますが、この度、いわき経済同友会は30年の節目を迎えることができました。これも偏に当会創立以来リードして頂きました創設者はじめ会員の皆様、そして関係各位の皆様のご支援ご指導の賜物と心より御礼を申し上げます。

当会は昭和61年11月27日100名余りの同志により、いわき市に基盤を持つ経営者が一つとなり、異業種交流を含め、共に勉強し合い社会を発展させ、地域の活性化に少しでもお役に立てることを目的にできたわけです。創立からの30年の変遷を見ますと、高度成長期の頂を見て次世代を考えながら10年が過ぎ、高度成長期が終わり、その反動として厳しい経済の中で私達は学

び続け、そして誰もが経験したことのない大震災がありました。今こそ地域経済の活性化を目指し、経営者の資質向上のもと、各種の経済視察が必要であると確信し観光特区、経済特区などの特区構想について提言させて戴きました。

そしてまた、福島原発事故に於いても、フランスの原発運営を視察し、いわき市に対して提言をさせて戴きました。

私は今こそ行政の中心に経済団体が一つになり、“世界で一番住みやすい街づくり”をスローガンにと考えております。その為には、異業種交流の団体であります私たちが、地域の中でのリーダーシップを発揮して行くことが大切であると考えております。

最後になりますが、これを期に初心に戻り、チャレンジ精神ハングリー精神を持って行動しながら、このいわきを一層元気にしていきたいと思っております。皆様のご支援ご指導を今後共よろしく願いいたします。本日は誠にありがとうございます。

創立 30 周年記念事業

寺主 君男 30 周年実行委員長

1. 記念講演
2. 新指針理念目的発表

3. フランスといわき市の文化・スポーツ観光・産業育成の交流推進
4. 『いわき生徒会長サミット』の開催

演 題 「2021 年の日本に向けて」

講 師 衆議院議員 自由民主党 農林部会長 小泉 進次郎 先生

只今、ご紹介に預かりました撮影 OK の小泉進次郎です。本日はいわき経済同友会の 30 周年記念講演に私のような若輩者をお招き頂きありがとうございます。目の前には吉野大先輩がおられますが、非常にやりにくくて…。

さて、私にとって“いわき”と言えばトマトランドです。復興政務官の時、何度も伺いました。実は、現在の農林部会長になるまで生のトマトが嫌いで、特にお出しいただいたトマトジュースが苦手でしたがそれも克服いたしましたので、どうぞトマトランドさんにお伝えください。

さて、今回の演題は『2021 年の日本に向けて』といたしました。なぜ、2020 年ではなく 2021 年だと思いますか？その最大の理由は日本国の省庁の中で 2021 年に解散が決まっている唯一の省庁『復興庁』がなくなる年です。その時が正に 2021 年です。東京オリンピック・パラリンピックの翌年で、日本の将来・福島を将来を考える時、その先を考えなければと思っているからです。

最近私は農林部会長という肩書でニュースに出ることが多いのですが、実はもう一つ、“2020 年以降の社会保障を考える小委員会”の代表代行をやっています。代表はいないので実質私がトップです。

そこで最近『人生 100 年時代の社会保障へ』という提言を発表いたしました。そうです、人生 100 年が当たり前の時代がもうすぐ来るのです。最近、イギリスのスコットとグラットン共著による“ライフ・シフト”の中に、今、小学校 3 年生（9 歳）の日本人の 50% が 100 歳まで生きると言っています。そして厚生省発表の日本人の平均寿命は、今で女性 84 歳、男性 80 歳。これから 20～30 年過ぎると女性は 90 歳になり、100 歳まで生きることが珍しいことではなくなります。

その提言の中で、なぜ 100 年と位置付けたのかと言えば、100 年生きて、長生きがリスクにならない、安心して 100 年を生きることができる社会保障制度を作るために『人生 100 年時代』という言葉を使ったわけです。

おそらく、世界の中で国民 1 人 1 人の人生を 100 年というスパンで考えるという取り組みは日本が初めてだと思います。

今日お越しの皆さんは企業を営んでいる皆さんです。企業にライフサイクルがあるように、国にもライフ



サイクルがあります。私たちの小委員会では、日本の第一創業期を日本の戦後と考えました。敗戦の中から立ち上がった日本がトヨタのように大企業になった成功物語を第一創業期。しかし、バブルがはじけて人口減少という構造的要因のため、成功したビジネスモデルは通用しなくなり、第一創業期の国民の安心基盤とした国民皆年金、国民皆保険はこれからは、安心とはならないのです。それでは何が必要か？それはセーフティネットです。

私たちが考えたのは誰もが社会保険に入れる社会にしよう。正規であろうと不正規であろうと週 20 時間以上働いた人は誰もが厚生年金に加入できるようにする。勿論、事業者側から見ると負担に映るかもしれませんが、しかし、日本が今課題になっているのが労働力不足です。雇用を投資であるという発想を根付かせ、安心して働ける環境を整備し、勤労者皆社会保険制度を構築する必要があります。

私の言いたいことは、今をベースに考えるのではなく、将来を見据え“今から何をすべきか？”が問われているということです。

私が復興政務官時代考えたことは、この福島の将来をどうすべきか？原発事故を起こしてしまった東電、国の責任を考えれば、再生エネルギーを含め新たな産業を興し、今後の日本で、廃炉の拠点基地となるようなご意見が経済界の皆さん、福島県の総意としてあがってくるようにと期待しています。これは他の地域から出てこない考え方ではないでしょうか？そして、2040 年、2050 年には目標達成できるように私自身も後押しをしようと考えています。新しい福島がここから始まります。

先程こちらに来る車の中で、いわきの労働力不足が話題になりましたが、私が取り組んでいる農業でも同じ

です。

収穫時期に人手がない。今は外国人労働力が活躍しています。ある地域では国家戦略特区の中で外国人技能実習生の拡大、規制緩和をもっとやってもらいたいとの声がどんどんあがっています。これらの動きから、これからの日本を創るヒントが多く隠れていると思います。

さて、8年前“チェンジ”と言ってオバマ大統領が誕生し、翌年日本では民主党による政権が誕生しました。

そして、あの時私は自民党の中で一番若い新人議員となりました。明日以降、世界で何が起こるかわかりません。あれだけ最後までトランプ氏が支持をされた理由は貧困格差です。

日本においても、程度の差こそあれ起こり得る問題です。ですから先程お伝えしたセーフティーネット作りを今考える必要があるのです。人生100年を生きる仕組みづくりを真剣に考えねばなりません。

つい最近耳にする言葉に“古希ベンチャー”“副業兼業の解禁”これらのことが始まりました。ロート製菓の会長さんは「これからの時代、どんな企業においても活躍できる人材のほうが企業にとっては強い。いろいろな課題もあるが、やっていく中で解決したい」とのこと。

これから先10年に起こることは私たちにとって全く予想がつきません。2017年スマホが登場し10周年になります。これから10年でスマホは何になっているでしょうか？これが私たちが生きる時代なのです。かつての産業革命はいくつもの世代を越えだんだんと行われてきました。

しかし、これからは物凄いスピードで変革する時代です。民間の力で変革する時代の後押しをする政治をしていかなければと思います。今私がやっている農業の話でも同じです。

兵庫県養父市は国家戦略特区に指定され、その中で企業が農地を所有することができるようになりました。これは日本の中で養父市だけです。日本の農業が持続可能性が失われてしまったからです。

この危機を突破するためにあらゆる手段を使って日本

の食の未来を創り農業を守り、成長産業に変えていく必要があるから、そこまで踏み込みました。

今TPPが話題になっていますが、農業の最大の課題はTPPではありません。構造的な課題は、それ以前から、ずっと存在しています。

最近消費者の皆さんに人気のあるフルーツがあります。シャインマスカット・白いイチゴ、この2つには共通点があります。これは国が開発したのです。これから地球温暖化も止まりません。気候の変動に対応しての品種の改良・開発は国が先導してやっていくことです。

国がやらなければならないもう一つは、人手不足です。

若い人たちが参入できる環境の整備です。私が農水省に指示して始めたことに、人工知能プロジェクトがあります。GPS付草刈りロボット、GPS搭載のドローン、収穫時の人工知能搭載のロボット等の開発です。例えば、昼間は人間が、夜は人工知能ロボットが収穫するとか。安定した給料・休日・サラリーマンが働くような環境になれば若い人たちが集まります。先日千葉県に行って視察したイオンアグリ創造というイオンの子会社を例にしますと、就労希望者が1万人集まり雇用したのは40人、2年経って離職率0です。若い人たちは農業をやりたいのです。国も農業の法人化の後押しをしています。

もう一つ、農産物の輸出拡大です。日本はこれから人口が減り高齢化が進み一人一人の食べる量も減り、国内マーケットが縮小します。2050年日本の人口は3割減りますが、世界の人口は3割増えるといわれています。日本は1億人、世界は100億人です。農産物の輸出拡大もこれからの日本の農業の柱にと後押しをしています。

2020年のオリンピック・パラリンピックに食材を提供する基準がこれから決まります。福島県にお願いしているのは、農産物に関して国際的に認められた国際認証を日本で一番多くとっている農家が多い県にしてもらいたい。“福島のもの”だからと控える消費者がいるのも事実です。本当に美味しい物、国際的に認められた物を作りましょう。経済同友会の皆さんからも是非応援してください。

チャーターメンバー

大和田 宏 様
 櫛田 雪美 様
 猪狩 正明 様
 三浦 秀一 様
 橋本 年勝 様
 佐藤 敏雄 様
 塚本 英雄 様
 馬日 英一 様
 芳賀 信一 様
 岩谷 良二 様
 里見 潤 様
 鈴木 清友 様
 安島 宏 様



11月グループ会報告

第2グループ会

- 日 時 11月22日(火曜日) 12:00～
■場 所 いわき建設会館 3階北会議室

①検討のポイント

- ・次任者に求めるスキルを明確にする

②検討内容

- ・正しい知識の習得：労務管理など法的な知識。財務知識など数値判断
- ・リーダーシップ（推進力）/コミュニケーション能力（報連相）
- ・徹底する力（ルールを守る/決めたことをやらせる）
※10月幹事会にて提案した「塾」での教育テーマに繋げたい。

第4グループ会

- 日 時 11月26日(土曜日)8:00～
■場 所 栃木県宇都宮市

第9回（11月度）移動グループ会：栃木県宇都宮市内の文化財を訪ねる

- 1 宇都宮城址公園は、徳川将軍家の日光社参時の宿場所として本丸敷地内に建てられたといわれる「本丸御成御所」後で、現在は、園内で開催される催事に参加するなど、市民が集う公園として親しまれている。
- 2 宇都宮二荒山神社（うつのみやふたあらやまじんじゃ）は、宇都宮城の真北に当り、大通りの大鳥居から表参道石段・95段を登り詰めた処に唐破

風神門があり左右八間の廻廊が配されています。中央奥に御本社があります。以前の本殿は入母屋造（いりもやづくり）でしたが今は神明造（しんめいづくり）になり、拝殿は入母屋造です。

- 3 旧篠原家住宅は、国指定重要文化財・市指定有形文化財（有形文化財・建造物）で宇都宮市を代表する旧家の一つである。篠原家は、江戸時代（18世紀の終わり頃）から奥州街道口の現在の場所で、醤油醸造業や肥料商を営んでいた豪商です。
- 4 大谷資料館の地下採掘場跡は、1919年（大正8年）から1986年（昭和61年）までの約70年をかけて、大谷石を掘り出して出来た巨大な地下空間です。その広さは、2万平方メートルにも及び野球場が一つ入ってしまう大きさです。坑内の年平均気温は8℃前後で、地下の大きな冷蔵庫といった感じです。戦争中は地下の秘密工場として、戦後は政府米の貯蔵庫として利用され、現在では、コンサートや美術展、演劇場、地下の教会として、また写真や映画のスタジオとして利用されています。
- 5 大谷寺は天台宗の寺院。本尊は千手観音で坂東三十三箇所第19番札所。国の重要文化財に指定されている。

新入会員紹介



やま ぐち よし ふみ
山口 慶 文

三菱食品(株)東北支社長

業種/食品卸

会社所在地 〒983-0035

宮城県仙台市宮城野区日の出町1丁目4番8号

趣味/ゴルフ、映画鑑賞

1月幹事会・賀詞交歓会開催 1月11日(水)

会費 5,000円

18:30 幹事会

会場 雨情の宿 新つた

19:00 賀詞交歓会

1月幹事会と賀詞交歓会を開催致します。恒例になりましたビンゴ大会も予定しております。

年明け早々お忙しいとは存じますが、会員同士お誘い合わせの上、ご出席いただきますようご案内申し上げます。

※準備の都合上、出欠は12月19日(月)までにFAXまたはメールにてご連絡をお願い致します。

※送迎バスを運行致しますので是非ご利用ください。

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

- 会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館 4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
http://www.seaiwaki.jp
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp

発行 いわき経済同友会 安島 浩代表幹事
編集 情報委員会 委員長 坂本和久
副委員長/川崎憲正・田村慎太郎・四ツ倉隆裕
常葉修一・山崎勇一郎